

一般社団法人日本周産期・新生児医学会

若手研究者派遣助成

19th Congress of the FAOPS in Taipei

December 1-4, 2016

日本周産期・新生児医学会では、アジアオセアニア周産期学会 2020 の東京招致を目指して、鋭意招致活動を行っています。本年 12 月の台北での FAOPS 学会で、2020 年の学会開催地が決定される予定です。

本会から多くの参加者と共に訪れ、招致の決定とするため、派遣助成を行うこととしました。羽田-台北 3 時間 30 分ですので、是非、若手の研究者の皆様への国際学会発表と派遣助成への応募をお願いします。

日本周産期・新生児医学会 渉外委員会委員長

FAOPS2020 TOKYO 招致委員長

慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 田中 守

助成対象

以下の条件を満たす研究者

- 1) 第 19 回 FAOPS in Taipei に筆頭演者として演題登録を終えていること
- 2) 2016 年 4 月 1 日現在、45 歳以下であること
- 3) 日本周産期・新生児医学会の会員であること

助成金額

総額 100 万円 一人あたり 10 万円×10 名

応募者多数の場合は、渉外委員会で選考(若年者優先)

申請〆切

2016 年 9 月 15 日

(FAOPS2016 の deadline of Abstract Submission)

申請方法

若手研究者派遣助成申請書(<http://www.jspnm.com/topics/data/FAOPS2016.docx>)にご記入の上、日本周産期・新生児医学会事務局 kaiin@jspnm.org 宛に送付してください。メールのタイトルに【FAOPS】を表記してください。

(FAOPS2016 に演題登録の際に同時に学会事務局へ送付してください)